

ストレキサート錠 1mg・2mg 「日本臓器」を服用される患者さんへ

- このお薬は関節リウマチ、局所療法で効果不十分な尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、関節症状を伴う若年性特発性関節炎の治療薬です。
- このお薬は、1週間のうちお薬を飲まない期間があります。
- このお薬は、医師の指示どおり下記のいずれかの飲み方を繰り返してお飲みください。
- それぞれ1回で飲むお薬の量は、医師または薬剤師の指示にしたがってください。

飲み方

医師、薬剤師の先生は、以下の3つから**飲み方**の下にある□に✓印を付け、 錠飲むに飲む錠数をお書きください。

□ 1週間に1日だけ1回飲む場合

お薬の種類	1日目		2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
	1回目 朝	夕						
1mg 	<u> </u> 錠飲む							
2mg 	<u> </u> 錠飲む							

← お薬を飲まない期間 →

□ 1週間に1日だけ2回にわけて飲む場合

お薬の種類	1日目		2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
	1回目 朝	2回目 夕 <small>12時間あける</small>						
1mg 	<u> </u> 錠飲む	<u> </u> 錠飲む						
2mg 	<u> </u> 錠飲む	<u> </u> 錠飲む						

← お薬を飲まない期間 →

□ 1週間に2日間、3回にわけて飲む場合

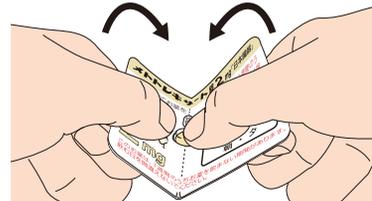
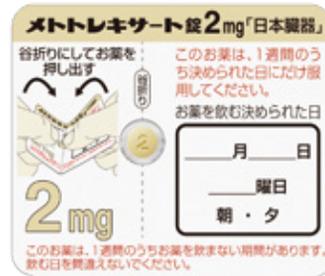
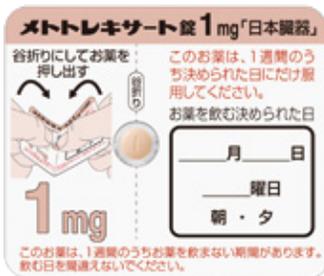
お薬の種類	1日目			2日目		3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
	1回目 朝	2回目 夕 <small>12時間あける</small>	3回目 朝 <small>12時間あける</small>	夕	朝					
			夕							
1mg 	<u> </u> 錠飲む	<u> </u> 錠飲む	<u> </u> 錠飲む							
2mg 	<u> </u> 錠飲む	<u> </u> 錠飲む	<u> </u> 錠飲む							

← お薬を飲まない期間 →

← この飲み方を1週間ごとに繰り返してください →

お薬のシート

- お薬のシートに書かれた月日・曜日・朝夕のとおりにお飲みください。
- 下の図のように、谷折りにしてお薬を押し出してください。



- このお薬は、効果が得られるまでに1~2か月かかる場合があります。ご自分の判断でお薬の量を増減したり、お薬を飲むのをやめたりしないでください。
- お薬を飲み忘れた場合はそのお薬を飲まず、次回飲む時から決められた量をお飲みください。また、誤ってお薬を多く飲んだ場合は、すぐに医師または薬剤師に相談してください。
- コップ1杯の水またはそれ以上の多めの水でお飲みください。
- 他の医療機関を受診される場合は、このお薬を飲んでいる事を医師または薬剤師にお伝えください。

裏面もお読みください →

次のような症状は副作用の可能性があります
症状に気づいたら、すぐに医師または薬剤師に相談してください

からだがだるい、疲れやすい、
吐き気、口内炎、食欲がない、
口が強くかわく等



発熱、せき、
喉の痛み、頭痛、
息切れ、息苦しい
等



青あざ、皮下出血、出血しやすい(鼻血、歯茎の出血など)等

他に むくみ、尿量の減少、めまい、発疹、かゆみ、皮膚の赤み、水ぶくれ、皮膚や白目が黄色くなる、下痢等

次のような時はお薬をお休みすると、副作用を予防できることがあります
1~2週間程度お薬をお休みしても、関節リウマチがすぐに悪化することは通常ありません
まずはお薬をお休みして、早めに医師または薬剤師に相談してください

- 感染症が疑われる時 例 強い喉の痛みや頭痛、高熱、息苦しさ、膀胱炎
- 皮膚に症状が出た時 例 帯状疱疹や蜂巣炎^{ほうそうえん}などの皮膚の赤み、痛み、腫れ
- 脱水症状が強い時 ● リンパ節が腫れた時 ● 口内炎が出てきた時

※これら以外でも普段みられない症状が出た時は早めに医師または薬剤師に相談してください。

生活する上での注意

- このお薬は、流産や胎児の奇形を起こす可能性があります。ご自身もしくはパートナーの妊娠、出産を希望する方は、女性、男性ともに医師に相談してください。
- このお薬を飲んでいる間は、飲酒を控えてください。
- 医師の指示にしたがって定期的に検査を受けてください。
- このお薬を飲んでいる間は、生ワクチン【麻しん・風しん・おたふくかぜ・水痘・帯状疱疹・ポリオ・BCG】の接種はできません。接種の必要がある場合には医師に相談してください。

次の方は医師に相談してください

- 妊娠を希望する方・妊娠中・授乳中の方。
- 血液・肝臓・腎臓の病気がある方、肺の病気になった方、感染症やみずぼうそうにかかっている方、アルコールを日頃から飲まれている方。
- 今までにお薬による発疹などのアレルギーが出たことがある方。
- 他にお薬を飲んでいる方。

その他、このお薬に関するお問い合わせは担当の医師か薬剤師に相談してください。

病院または薬局の連絡先 _____

日本臓器製薬株式会社